

# 第58期

山一電機株式会社  
中間報告書

2012.4.1~2012.9.30

## Contents

企業理念	1
株主のみなさまへ	2
セグメント別レビュー／トピックス	3
連結財務諸表（要約）	5
会社の概要・株式の状況	6



山一電機グループは、新しい価値の創造に革新的に取り組む、  
エレクトロニクス産業において、すぐれた品質の  
トータルパッケージサービスを提供することを通じて、  
お客様の価値創出に貢献します。

## 1.人の尊重

人を育て、人を活かし、会  
社の発展と個人の幸せの共  
有を目指します。

## 2.企業価値の最大化

株主をはじめとしたステークホルダーの要請に応え、  
適正利潤を追求し、企業価値の最大化を目指します。

## 3.企業品質の向上

信頼の最大の基盤である優れた製品品質と企業品質を提供することによって、顧客の満足を図ります。

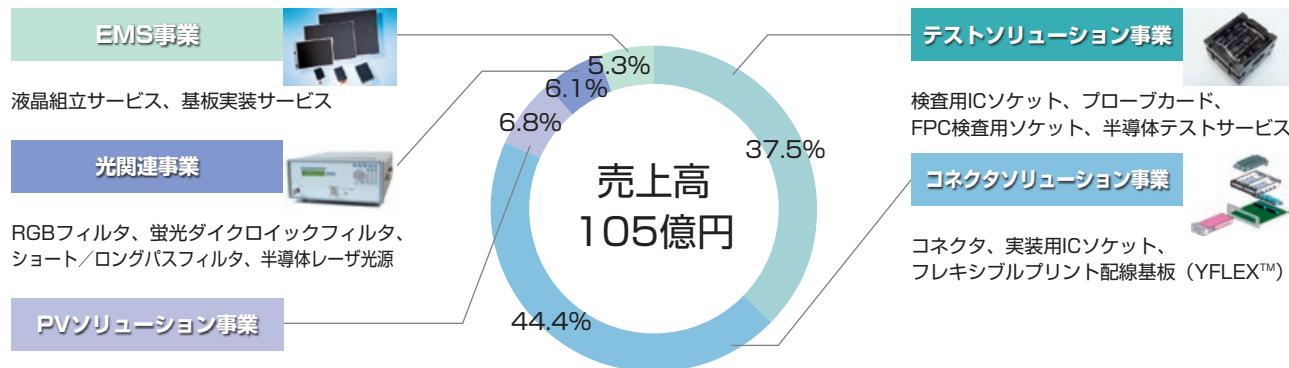
## 4.技術立社への挑戦

開発型企業として、たゆまず技術の創造と革新に挑戦し、半歩先をゆく技術を提供します。

## 5.社会的役割の達成

常に社会との調和を図り、社会から信頼される企業であり続けます。

## セグメント別売上高構成比と主要な事業内容 (平成25年3月期第2四半期)





代表取締役社長  
織田 俊司

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。  
ここに、平成25年3月期第2四半期累計期間の連結業績につきましてご報告いたします。

当社グループが関連するエレクトロニクス業界においては、スマートフォンやタブレット端末は好調に推移しているものの、ノートパソコン、テレビおよびデジタルカメラなどのデジタル家電製品の販売不振や国内半導体設備投資の低迷が長期化し、全般的に低調な推移となりました。

このような経営環境の中で当社グループは、これまで徹底した経営の効率化・合理化などによってコスト削減、経費圧縮に全社を挙げて取り組んでまいりましたが、当第2四半期連結累計期間の業績は大きく悪化いたしました。

そのため、抜本的な収益構造の改革に取り組むことが急務であると判断し、下記の構造改革を実施することを決定いたしました。

#### (1) 事業の選択と集中

構造的に利益を生まない事業および市場が共通でない事業については、早期に撤退し、基幹事業への経営資源の集中を図ります。すでにPVソリューション事業は廃止いたしました。他の事業についても継続検討してまいります。

#### (2) 固定費の圧縮

- ・ 人員の適正化を図るため、自然退職減の補充抑制、非正規雇用者の削減、正規雇用者の早期退職者募集により、100名程度を削減いたします。
- ・ 取締役および執行役員はこれまで報酬の15%~30%を減額し、管理職は給与の5%~10%を減額しておりますが、業績状況を踏まえ適用範囲および減額幅の拡大を適宜実施いたします。また、賞与支給額についても業績状況を踏まえ、減額いたします。
- ・ 当社子会社のマティ株式会社においては希望退職者を募集し、固定費を圧縮いたしました。

#### (3) 本社の移転

当社本社社屋は賃貸であり、契約満了を機に、自社保有の佐倉事業所に多くを集積いたします。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高10,500百万円（前年同期比11.0%減）と大幅な減収となりました。損益面においても、減収の影響により営業損失603百万円（前年同期は営業損失111百万円）、為替差損358百万円の計上により経常損失1,002百万円（前年同期は経常損失478百万円）、固定資産減損損失833百万円および子会社の希望退職者募集による特別退職加算金77百万円などの特別損失計上により四半期純損失2,056百万円（前年同期は四半期純損失694百万円）となりました。

通期の業績見通しにつきましては、厳しい経営環境を踏まえ、事業の選択と集中、固定費の圧縮、本社の移転などの構造改革を推し進めてまいります。これにより、通期の売上高は21,000百万円（前年同期比9.4%減）、営業損失570百万円（前年同期は営業損失765百万円）、経常損失1,020百万円（前年同期は経常損失786百万円）、当期純損失2,640百万円（前年同期は当期純損失1,537百万円）を予想しております。

なお、中間配当の実施につきましては、誠に遺憾ではありませんが見送らせて頂くことといたしました。

株主の皆様におかれましては、このような厳しい経営状況でございますが、早期の黒字転換ならびに復配に向けて鋭意努力してまいりますので、今後ともますますのご支援とご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

## テストソリューション事業

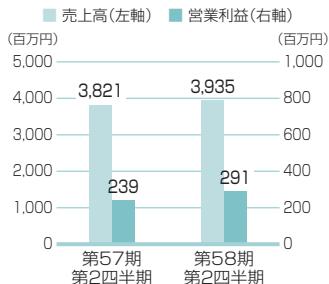
### 0.35mmピッチ グリッドアレイパッケージ用バーンインソケットを開発

スマートフォンやタブレット端末などに代表されるモバイル機器用半導体は、高性能・省スペース化が進んでおります。この度、グリッドアレイパッケージ用に従来品よりも狭ピッチである0.35mmピッチのバーンインソケットを開発いたしました。微細化ニーズが進むバーンインテストのご要望に、長年培われた技術ノウハウと超精密加工技術を融合させた最先端技術製品で応え続けます。



0.35mm バーンインソケット IC571シリーズ

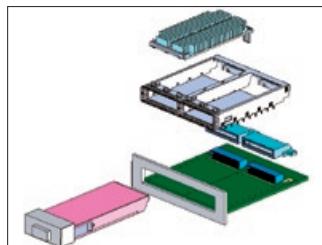
### テストソリューション事業



## コネクタソリューション事業

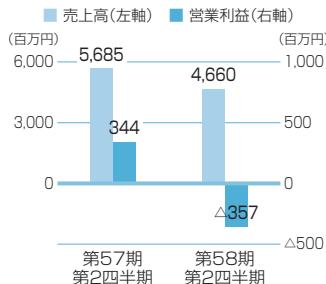
### MSA (Multi-Source Agreement) 規格に準拠した光モジュールCFP2用コネクタ& ケージセット (シールドケース) のサンプル出荷開始

通信市場では、高速インターネットの普及とともにさらなる大量のデータの伝送が必要とされております。当社は、すでに販売を開始している“CFP光モジュール用コネクタ”の次世代版“CFP2光モジュール用コネクタ”を業界に先駆けて開発を行い、サンプル出荷を開始いたしました。CFP2は、CFP以上の伝送性能を持ちながら、コネクタサイズは約半分に小型化され、全世界の通信機器市場への販売が見込める製品であります。さらに小型化されるCFP4についても規格化への参画と業界に先駆けての開発を進めております。



CFP2光モジュール用コネクタセット

### コネクタソリューション事業



## 光関連事業

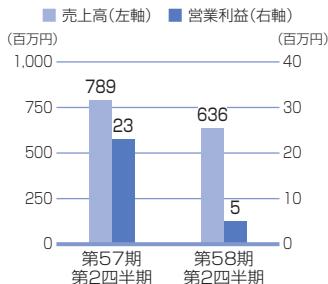
光関連事業のコア技術である光学薄膜技術を利用して、将来の光通信用波長帯の拡大に対応でき、関連する研究開発にも利用可能なコンパクトで低価格な1 $\mu$ m帯の波長可変半導体レーザー光源を開発いたしました。この製品は、神奈川が誇る中小企業の新たなオンリーワン技術ということで、「第29回神奈川工業技術開発大賞」の奨励賞を受賞いたしました。アプリケーションとして、光部品などの評価や医療分野、バイオイメージングなどへの利用が期待されます。

神奈川工業技術開発大賞 ロゴマーク



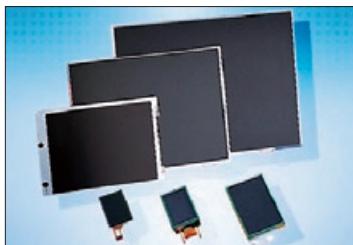
1 $\mu$ m帯波長可変半導体レーザー光源

### 光関連事業



## EMS事業

国内と海外にて展開し、国内ではマティ株式会社にて中小型液晶パネルの組立/検査等の事業を展開しておりますが、ノートパソコンの需要減により取扱いは低調な推移となりました。また、海外ではプライコンマイクロエレクトロニクスINC. (フィリピン) にて主にHDDの基板実装事業を展開しておりますが、HDD需要の低迷により低調な推移となりました。



液晶パネル組立製品例

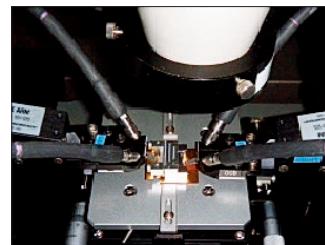
### EMS事業



## R&Dセンター

### 25GHz超コネクタ対応の高速伝送評価技術を確立

スマートフォンなどの需要拡大にとめない、データセンタなどに使用される情報機器用コネクタはますます高速化が必要になってきております。現在の主流コネクタの性能は10Gbps (1秒間に100億ビット信号をやり取りする) ですが、次世代の25Gbpsコネクタはすでに市場に出始めており、数年後には本格的に立ち上がる見込みであります。当社は次世代コネクタ開発に必要な25GHz超対応の高速伝送評価技術を確立し、業界に先駆けた製品化を強力に進めております。



プローブによるコネクタ評価

■第2四半期連結貸借対照表

(資産の部) (単位：百万円)

科目	当第2四半期末 (平成24年9月30日現在)	前期末 (平成24年3月31日現在)
<b>流動資産</b>	<b>12,390</b>	<b>13,707</b>
現金及び預金	4,790	5,297
受取手形及び売掛金	4,064	4,498
たな卸資産	2,807	3,148
その他	727	762
<b>固定資産</b>	<b>11,488</b>	<b>12,531</b>
有形固定資産	9,352	10,229
無形固定資産	77	106
投資その他の資産	2,059	2,195
繰延資産	5	-
<b>資産合計</b>	<b>23,884</b>	<b>26,238</b>

(負債、純資産の部) (単位：百万円)

科目	当第2四半期末 (平成24年9月30日現在)	前期末 (平成24年3月31日現在)
<b>流動負債</b>	<b>9,117</b>	<b>9,736</b>
支払手形及び買掛金	1,211	1,560
短期借入金	5,580	6,331
その他	2,326	1,845
<b>固定負債</b>	<b>1,900</b>	<b>1,495</b>
社債	215	-
長期借入金	889	745
その他	796	750
<b>負債合計</b>	<b>11,017</b>	<b>11,231</b>
<b>株主資本</b>	<b>14,196</b>	<b>16,253</b>
資本金	10,047	10,047
資本剰余金	4,520	5,004
利益剰余金	△ 366	1,205
自己株式	△ 3	△ 3
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△ 1,349</b>	<b>△ 1,266</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>19</b>	<b>19</b>
<b>純資産合計</b>	<b>12,867</b>	<b>15,006</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>23,884</b>	<b>26,238</b>

■第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>売上高</b>	<b>10,500</b>	<b>11,800</b>
売上原価	8,326	8,982
<b>売上総利益</b>	<b>2,174</b>	<b>2,818</b>
販売費及び一般管理費	2,777	2,930
<b>営業利益</b>	<b>△ 603</b>	<b>△ 111</b>
営業外収益	111	149
営業外費用	510	516
<b>経常利益</b>	<b>△ 1,002</b>	<b>△ 478</b>
特別利益	4	2
特別損失	989	109
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>△ 1,987</b>	<b>△ 585</b>
法人税、住民税及び事業税	80	37
法人税等調整額	△ 11	71
<b>少数株主損益調整前四半期純利益</b>	<b>△ 2,056</b>	<b>△ 694</b>
少数株主利益	△ 0	△ 0
<b>四半期純利益</b>	<b>△ 2,056</b>	<b>△ 694</b>

■第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	620	492
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 826	△ 1,225
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 257	214
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 53	△ 147
現金及び現金同等物の期首残高	5,292	6,736
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,775	6,070

■会社の概要

商号 山一電機株式会社  
 所在地 東京都大田区中馬込三丁目28番7号  
 設立 昭和31年11月  
 資本金 100億4,706万円  
 従業員数 465名(連結 3,126名)  
 主な事業内容 1. テストソリューション事業  
 2. コネクタソリューション事業  
 3. 光関連事業  
 4. EMS事業

■株式の状況

- ① 発行可能株式総数 60,000,000株
- ② 発行済株式総数 23,289,775株
- ③ 株主数 6,718名
- ④ 単元株式数 100株
- ⑤ 大株主

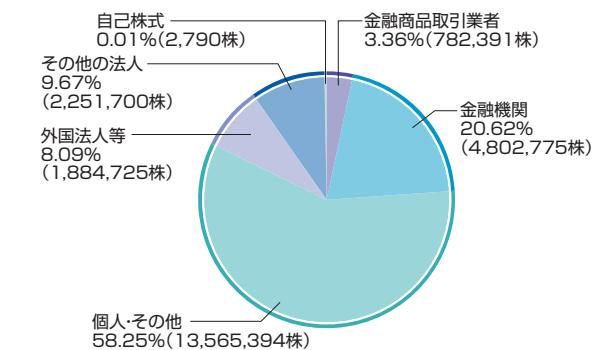
株主名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	1,943,900	8.35%
山一電機従業員持株会	942,288	4.05%
S M K 株式会社	839,200	3.60%
株式会社三井住友銀行	619,300	2.66%
山一電機取引先持株会	564,000	2.42%
日本生命保険相互会社	526,275	2.26%
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN	506,400	2.17%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	444,500	1.91%
ゴールドマンサックスインターナショナル	304,900	1.31%
株式会社三菱東京UFJ銀行	265,600	1.14%

(注) 持株比率は、自己株式2,790株を控除して計算しております。

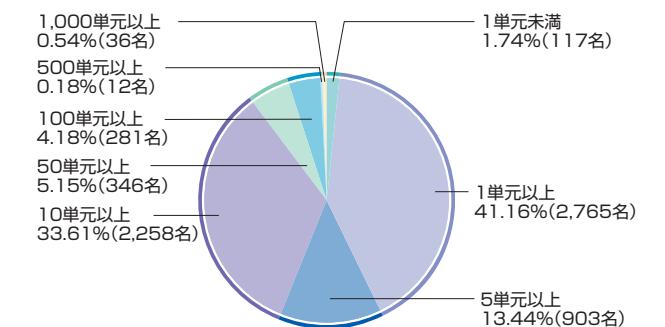
■役員

代表取締役社長 織田 俊司 常勤監査役 太田 佳孝  
 取締役 加藤 勝市 社外監査役 吉澤 壽美雄  
 取締役 村田 和則 社外監査役 多田 郁夫  
 取締役 阿部 俊司  
 取締役 渡部 武光

■所有者別株式数分布状況



■所有株数別株主数分布状況



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場第1部: 証券コード6941)
公告の方法	電子公告により行う (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

### 【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## IRサイトのご案内

当社では、Web上で「投資家情報」として次のような情報を公開しています。今後も、株主の皆様への情報開示の内容を充実し、迅速に開示を行っていく所存です。

Web上で  
ご覧いただける  
投資家情報

- IRカレンダー
- 決算短信
- 株主のみなさまへ
- 有価証券報告書
- お問合せ

<http://www.yamaichi.co.jp/aboutus/ir/ir.shtml>

 **山一電機株式会社**

〒143-8515 東京都大田区中馬込三丁目28番7号  
☎03-3778-6111 (代表) ☎03-3778-6171  
ホームページアドレス <http://www.yamaichi.co.jp>

